toto 助成事業報告　スポーツ指導者の養成・活用（スポーツ）
対象別ウォーターエクササイズ地域指導者養成講座

【ねらい】
指導者の養成と、その充実を図り区民の生涯スポーツとしての水泳の普及と発展に努め、水の事故防止に寄与するため、指導者としての資質・技能の向上と多くの指導者の輩出を図る

【実施日】　地域指導者養成講座
第Ⅰ弾；水泳指導者養成編
R8 年 1/19　2/11　2/18　2/26　3/12　3/20
第Ⅱ弾；初級パラスポーツ指導員養成編
R8 年 2/8　2/13　2/14　2/15

【募集人数】　地域指導者養成講座　各期 20 名
【参加人数】　25 名（第Ⅰ弾７名、第Ⅱ弾 18 名）
【従事者数】　各講座講師他水連指導員 20 名
【会　　議】　８回
【反省会議】　10 回
【決　　算】toto 助成金、参加料、水連負担金で決算

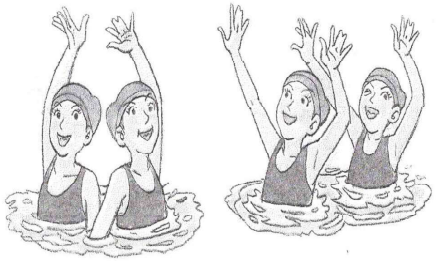
（収入）	合計	1,063,026 円
（内訳）	toto 助成金	762,000 円
	参加料	35,000 円
	水連負担金	266,026 円
（支出）	合計	1,063,026 円
（内訳）	諸謝金	604,250 円
	借料及び損料	58,500 円
	消耗品	106,771 円
	スポーツ用具費	279,985 円
	通信運搬費	2,520 円
	雑役務費	11,000 円

【計　　画】理事有志が運営に携わる

【成　　果】
①水泳指導者養成編
・対象者の泳ぎを観察して伝えるだけではなく、順序だててプログラムを組み立てる大切さを痛感した
・ペットボトルを利用して心肺蘇生法の手順を学んだ
やらないと助からないのは理解できるが、とっさの判断で出来るかどうかは不安が残るので、いつでもどこでも練習できる方法を学べて良かったとの感想があった
②初級パラスポーツ指導員養成講習会
・パラスポーツの歴史と大会が運営されている意義について改めて学べたことは指導する際に様々な方と接する上で大切なことであると再確認できて大変有意義でしたとのお声が多数あった
・プールでの実技は、普段のカリキュラムでは学べないことを実際に体験しながら学ぶことが出来、とても貴重な体験が出来たとのお声もあった

【反　　省】
・現指導員にも声掛けを行ない、聴講生として受講できることを周知していきたい

【次年度への引き継ぎ事項】
・従事者の役割分担を早期に決め、滞りなく運営できるようにしていきたい



toto 助成事業報告　スポーツ教室・スポーツ大会等開催（スポーツ）
第 28 回ノーマライゼーション水泳フェスティバル ＆ ユニバーサルスポーツチャレンジ

【目　　的】
誰にでも楽しめるプログラムを提供することにより障害のある人もない人も共に水に親しみ、楽しみを共有することでノーマライゼーションを図る。また、ユニバーサルスポーツチャレンジ体験会を行ない、障害の程度に関係なく参加できる場の提供をする

【実施日】　令和７年 10 月 26 日（日曜日）
【募集人数】　プール　200 名・アリーナ希望者
【参加人数】　406 名（競技・ゲーム・ＡＳ・指導協力者・パフォーマンス・ユニバーサルスポーツ・応援者・トゥリトネス・来賓）
【従事者数】　131 名　（実行委員・ボランティア）
【会　　議】　５回 各部門会議は随時
【反省会議】　１回
【計　　画】
副理事長が主体となり、会員及び一般から募集して実行委員会を組織化し運営に携わる

【決　　算】
toto 助成金、練馬区社会福祉協議会協賛金、参加料、水連負担金で決算

（収入）	合計	1,978,523 円
（内訳）	toto 助成金	1,365,000 円
	参加料	45,500 円
		（500 円× 91 名）
	協賛金	100,000 円
	水連負担金	468,023 円
（支出）	合計	1,978,523 円
（内訳）	諸謝金	789,500 円
	借料及び損料	1,400 円
	消耗品	165,985 円
	スポーツ用具	486,038 円
	印刷製本費	419,750 円
	通信運搬費	2,100 円
	雑役務費	13,750 円
	その他 DVD 制作費	100,000 円

【成　果】
・ボランティアの協力を得て安全に配慮した結果、事故もなく大会を終えることが出来た

【反　省】
・プログラム作成にゆとりが持てるように参加者への呼びかけに力を入れていきたい
・障害者専用コースに従事しているスタッフの協力を得て、参加者への呼びかけとボランティアの協力を得られるようにしていきたい
・天候が悪く参加者が少なかった事は大変残念だった

【次年度への引き継ぎ事項】
・実行委員とボランティアの役割を早期に決め、滞りなく運営できるようにしていきたい
・新規参加者を増やせるように声掛けを行なっていきたい